

令和 3年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	峯村 清一
全体計画	平成30年度		～	令和 2年度	経費区分	実施計画事業費			内線	3622	
事務事業名	10721 文化施設整備事業										
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課										
施 策	14011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100610 教育費・社会教育費・文化施設管理費									
	事業	020000 文化施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
所管する文化施設が建設から年数が経過し、改修の時期を迎えているため計画的に必要な改修を実施する。						老朽化の解消や法改正に対応する改修を実施し、今後も施設が安全・快適に利用することが可能となる。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
メセナホール非構造部材耐震化・長寿命化等工事 笠鉾会館展示改修工事 笠鉾会館エレベータ改修工事 長寿命化基本調査（笠鉾・版画・人形）	メセナホール非構造部材耐震化・長寿命化等工事 世界の民俗人形博物館長寿命化工事
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
須坂版画美術館長寿命化工事（2021実計計上予定）	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		417,704	25,752
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	397,863	23,000
	その他	12,143	0
一般財源		7,698	2,752
人員数(人)	正規職員	0.3	0.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,090.4	2,787.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,090.4	2,787.2
市民一人当たりの経費		8.0	0.5
総額		419,794.4	28,539.2

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	3,311	長寿命化基本調査委託料1,347、展示パネル作成委託料1,965
14節 工事請負費	414,393	メセナホール大規模改修339,620、笠鉾会館展示改修52,580、笠鉾会館設備改修22,193
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,563	人形博物館長寿命化工事実施設計業務委託料1,042、同監理業務委託料521
14節 工事請負費	24,189	人形博物館長寿命化工事24,189
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	各施設とも老朽化が進み、大規模改修が必要な時期を迎えている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	優先順位をつける中で、必要な改修工事を実施している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	今後必要となる大規模改修の財源確保が課題である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

建築基準法既存不適格となっていた笠鉾会館ドリームホールのエレベータを改修した。
2020年9月18日から2021年12月17日までを工期とする須坂市文化会館メセナホールの大規模改修に着手した。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

施設老朽化による大規模改修について検討する必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

各施設の老朽化が進む。計画的な財源確保が必要

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--